



第43回 全日本中国語スピーチコンテスト 東京大会

このスピーチコンテストは日本での中国語学習の普及と質の向上、そして日本と中国の国民がお互いに理解し合い、友情を育むことをねらいとして始まり、今年で43回目となります。



スピーチにおいて大切なことは、中国語で完璧に話すことではなく、自らの思いを自分の言葉で伝えようとする姿勢です。たとえミスがあったとしても、その一歩が語学力を高め、大きな学びをもたらします。人前で中国語を話す経験は、自信と表現力を育み、そしてモチベーションを高める貴重な機会です。また同じく中国語を学ぶ仲間たちとの出会いも、このスピーチコンテストの魅力です。そして東京大会の「朗読の部」「弁論の部」優勝者は東京都代表として全国大会に推薦します。

さあ、勇気をもって挑戦してください。皆様のご応募をお待ちしています。

日時：2025年10月5日(日) 10:00~17:00

会場：渋谷区リフレッシュ氷川 集会室

東京都渋谷区東 1-26-23

部門：第一部 朗読の部<課題文制>

(1)中学生・高校生の部

(2)大学生の部

(3)一般の部

第二部 弁論の部<自作原稿>

(1)中学生・高校生の部

(2)大学生・大学院生の部

(3)一般の部



参加費：500円(一次審査通過者のみ)

申込締切日：2025年8月29日(金)必着

主催：認定NPO法人東京都日中友好協会／渋谷区日中友好協会

後援：中国大使館／北京市人民对外友好協会

協賛：株式会社新橋亭／亜東書店／東方書店

お問合せ：認定NPO法人東京都日中友好協会事務局

tel:03-3295-8241 fax:03-3295-8255 e-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net

第一部 朗読の部	
日時	10月5日(日)
会場	渋谷区リフレッシュ氷川
部門及び参加資格	<p>【開催部門】</p> <p>①「中学生・高校生の部」 ②「大学生の部」(専門学校生含む。) ③「一般の部」(上記1・2以外の者)</p> <p>【参加資格】 全部門共通</p> <p>① 東京都内に在住、在勤、在学の者 ② 日本国籍を有する者 ③ 中国語を母語としない者 ④ 両親のいずれかが中国語母語としない者 ⑤ 中国語を主に授業を行っている学校(中華学校など)に在学経験のない者</p> <p>【部門ごとの出場資格】</p> <p>①「中学生・高校生の部」 ・ 中学、高校に在学している者</p> <p>②「大学生の部」 ・ 大学、大学院、またはそれに相当する学校に在学している者 ・ 出場時の年齢が30歳未満である者(30歳以上の者は「一般の部」に出場)</p>
審査基準	発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。 ※発表時は原稿を持ち込み可。暗唱を推奨。パフォーマンスは加点の対象外。
発表内容	課題文制 ※課題文は認定NPO法人東京都日中友好協会にご請求ください(tel, fax, e-mail 可)。 または当協会HPからダウンロードしていただいても結構です。
原稿	主催者の指定した課題文
応募規定	一人1部門のみ
応募方法	①エントリー用紙と課題文を録音したものを8月29日(金)必着で送付願います。 ②音声で一次審査を行います。審査を通過した方には9月16日(火)までにご連絡します。
送付方法	送付方法は4ページをご覧ください。
表彰	高得点者を表彰し、最優秀者を全国大会に推薦します。

第二部 弁論の部				
日時	10月5日(日)			
会場	渋谷区リフレッシュ氷川			
部門及び参加資格	<p>【開催部門】 ① 「中学生・高校生の部」 ② 「大学生の部」 ③ 「一般の部」</p> <p>【参加資格】 全部門共通 ① 東京都内に在住、在勤、在学の者 ② 日本国籍を有すること ③ 両親がどちらも中国語を母語としておらず、自分自身も中国語を母語としていないこと。 (注1) ④ 中国語を主にして授業を行なう学校(中華学校など)に在学した経験がないこと。 ⑤ 中国語を日常的に使用する地域に通算13ヶ月以上留学または滞在したことがないこと。 ただし、中国にある日本人学校に在学した経験がある場合、滞在期間に関係なく出場可能。 ⑥ 過去に全国大会で優勝したことがないこと。</p> <p>【部門ごとの出場資格】 ① 「中学生・高校生の部」 ・中学校または高校に在学している者 ② 「大学生の部」 ・大学、大学院、またはそれに相当する学校に在学している者。(注2) ・出場時の年齢が30歳未満である者。(30歳以上の者は「一般部門」に出場) ③ 「一般の部」 ・18歳以上で大学、大学院などに在学していない者、在学中でも出場時の年齢が30歳以上の者は「一般部門」に出場すること。 *注1 「母語」とは、その人が自然に身につけ、日常的に使用する言語のこと。 *注2 大学には短大や文科省指定の外国大学日本校も含まれる。</p>			
審査基準	<p>「中学生・高校生の部」「大学生の部」「一般の部」共通 各人のスピーチ(原則として原稿は見ないこと)と審査員による質疑応答(1分前後)を行う。 ① 正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか。※歌などのパフォーマンスは不可。 ② テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か。 ③ 内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか。</p>			
発表内容	<p>制限時間は5分以内(テーマは自由) 参考までに昨年の全国大会における受賞者のテーマを以下に記載します。 「高校生の部」:「中国を2度訪れて」 「大学生の部」:「私の座右の銘」 「一般の部」:「任重くして道遠し 外国人児童の教育問題」</p>			
原稿	<p>中文・日本語訳文とも提出(中文1,000字以内)。一度提出された原稿は訂正できません。 発表原稿は過去未発表のものであること。</p>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">中国語原稿作成の場合</th> <th style="width: 50%;">日本語原稿作成の場合</th> </tr> <tr> <td> ① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし中国の漢字を使用する。 ④ 3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。 </td> <td> ① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、日本の漢字を使用する。 ④ 3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。 </td> </tr> </table>	中国語原稿作成の場合	日本語原稿作成の場合	① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし中国の漢字を使用する。 ④ 3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。
中国語原稿作成の場合	日本語原稿作成の場合			
① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし中国の漢字を使用する。 ④ 3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。	① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、日本の漢字を使用する。 ④ 3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。			
応募規定	一人1部門のみ			
応募方法	① エントリー用紙、原稿と原稿を録音したものを 8月29日(金)必着 で送付願います。 ② 音声で一次審査を行います。審査を通過した方には 9月16日(火)まで にご連絡します。			
送付方法	送付方法は4ページをご覧ください。			
表彰	・東京都日本中国友好協会会長賞 1名 ・北京市人民対外友好協会賞 1名 ・中国大使館賞1名 ・優秀賞、特別賞 若干名 ※ 各部門の最優秀者を東京都代表として、全国大会に推薦します。 ★全国大会は2026年1月11日			

応募方法

1. 提出物:

- (1)原稿(弁論の部に出場の方)
 - (2)録音したもの(MP3、WMA のファイルなど)
- ※ Windows 標準メディアプレーヤーで再生可能な形式

2. 提出方法:

応募フォームへの入力

原稿や音声データはアップロードできない場合は、to-nicchu@jcfa-tyo.net に直接お送りください。

3. その他

- (1) 提出いただいたものは返却することができません。あらかじめご了承ください。
- (2) 出場弁士より提出された原稿は、内容集にして大会当日に頒布いたします。
あらかじめご了承ください。
- (3) 大会当日の映像および音声は、当協会の中国語普及活動のために使用させていただきます。
あらかじめご了承ください。

会場地図

